

西と東の訓読・訓点

漢文の訓読や訓点は日本人に馴染みがありますが、訓読のシステムは漢字圏だけでなく、その他の東西の多くの言語にも存在していたことをご存じでしょうか。日本語、中国語、韓国語、英語、アイルランド語、ラテン語等の言語に見られる訓点の役割から見えてくる各地域における異文化間の知的交流について考えます。

事前申込不要
入場無料

2014年10月15日(水)
13:30~15:45

関西大学 千里山キャンパス
児島惟謙館2階第2会議室

講師紹介

ジョン・ホイットマン博士 (Professor John Whitman)

コーネル大学教授 / 国立国語研究所教授。ハーバード大学で久野暁教授の指導のもと、言語学を専攻。1980年に国費留学生として筑波大学大学院で修士号取得後、母校に戻り、日本語と韓国語の歴史に取り組み、1985年に博士号を取得。専門分野は比較統語論、言語類型論、比較歴史言語学、東洋言語学、日本語学。

パトリック・P・オニール博士 (Professor Patrick P. O'Neill)

ノースカロライナ大学チャペルヒル校教授。現在、関西大学東西学術研究所の在外委嘱研究員でもある。アイルランドのウォーターフォード生まれ。専門分野は700~1400年におけるアイルランドとブリテン諸島の知的交流。

プログラム

司会 和田葉子 (関西大学外国語学部教授・東西学術研究所研究員)

13:30~14:30 (日本語による発表)

ジョン・ホイットマン博士

「漢字文化圏における「訓点」及び「訓読」と中世欧州ラテン語の注釈資料の比較研究」

14:30~15:15 (英語による発表)

パトリック・オニール博士

「700~1100年におけるラテン語のキリスト教正典テキストに見られる訓点について」

15:15~15:45 両博士によるディスカッション。



お問い合わせ先

関西大学研究所事務グループ

〒564-8680吹田市山手町3-3-35
TEL:06-6368-0653 FAX:06-6339-7721
E-mail : touzaiken@ml.kandai.jp